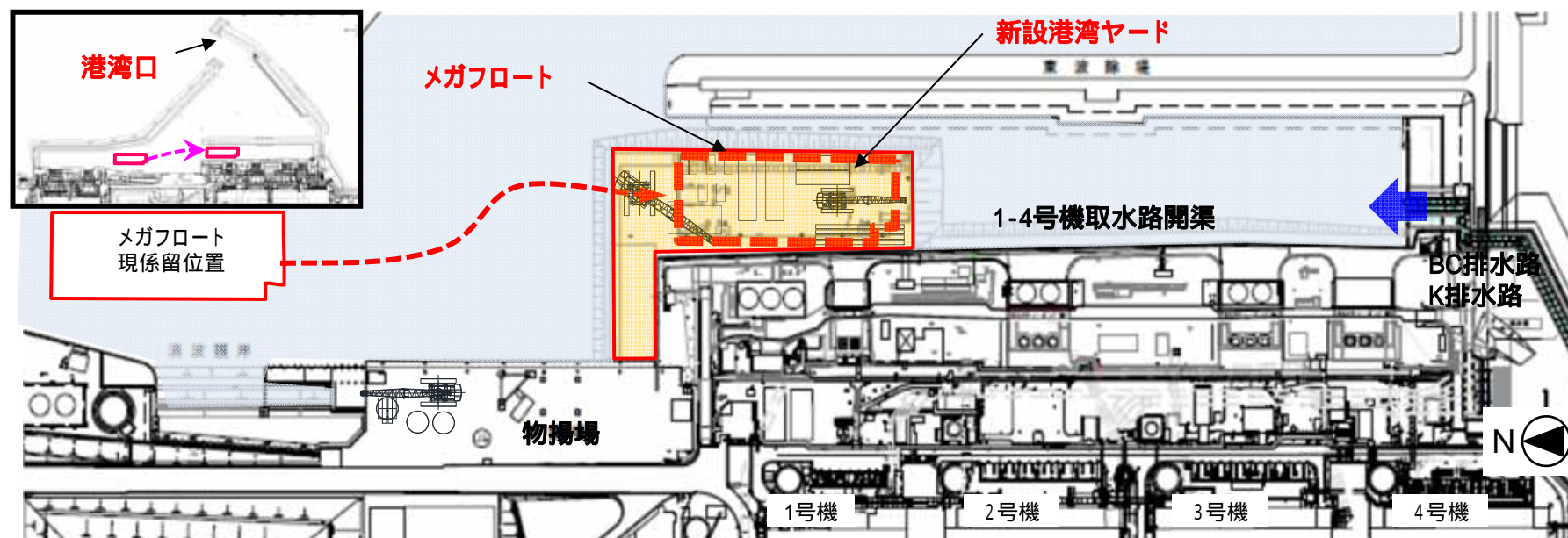


メガフロートの津波等リスク低減対策工事の開始予定について

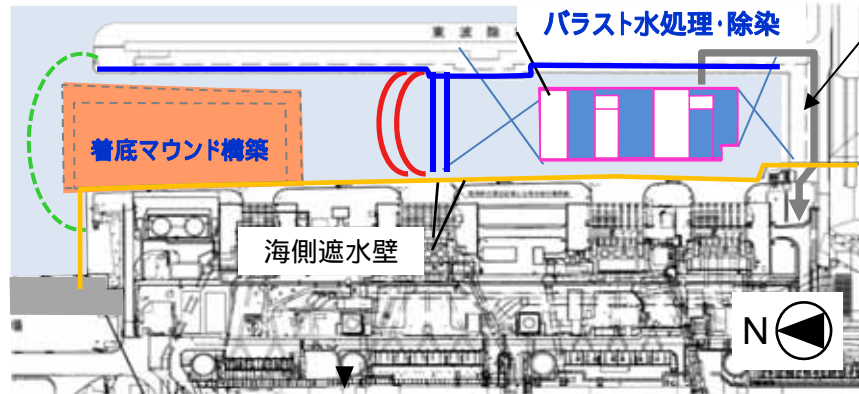
< 参 考 資 料 >
2018年11月1日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

- 震災により発生した5・6号機建屋の滞留水を一時貯留するため活用したメガフロートは、現在、バラスト水()としてろ過水を貯留し港湾内に係留している状況です。 バラスト水...船体動揺抑制のために貯留した水
- 港湾内に係留する状況が継続した場合、メガフロートが津波漂流物となり周辺設備を損傷させるリスクがあることから、リスクを早期に低減させ、かつ他作業との干渉を考慮し、護岸および物揚場として有効活用することとしています。
- 本工事は、海域での工事となることから、工事期間中は環境対策に万全を期するとともに、港湾内の環境モニタリングを継続してまいります。
- 今後、11月中旬を目途に、準備が整い次第、海上工事に着手する予定です。
- 本工事は、2021年度内の完了を目標としていますが、メガフロートが安定(メガフロートが着底マウンドに着底、内部にモルタル充填)し、津波リスクが低減するのは2020年度上期頃を計画しています。
- 1日も早くリスクを低減できるよう、安全第一に作業を進めてまいります。



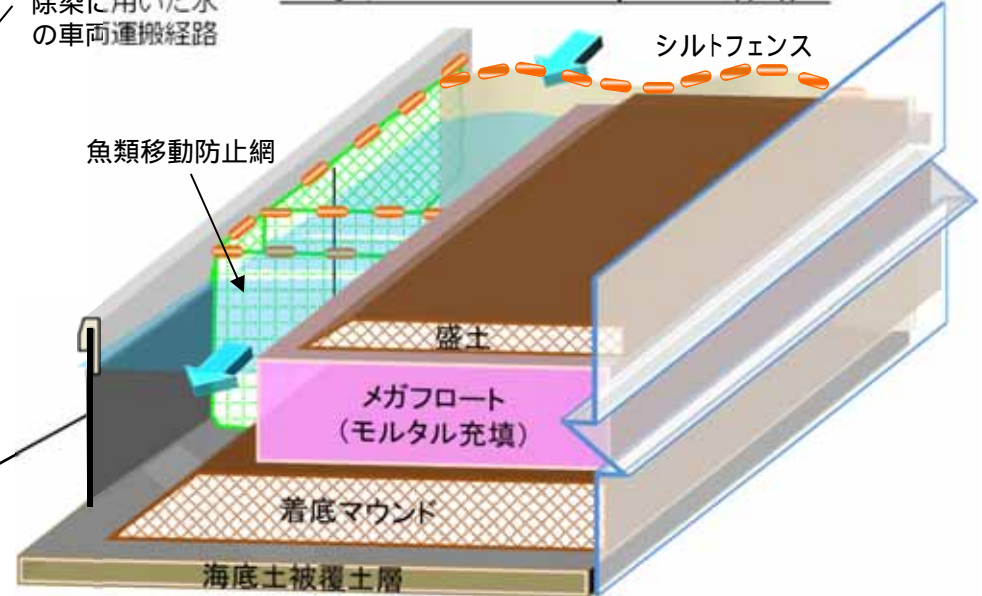
工事概要

ステップ 1



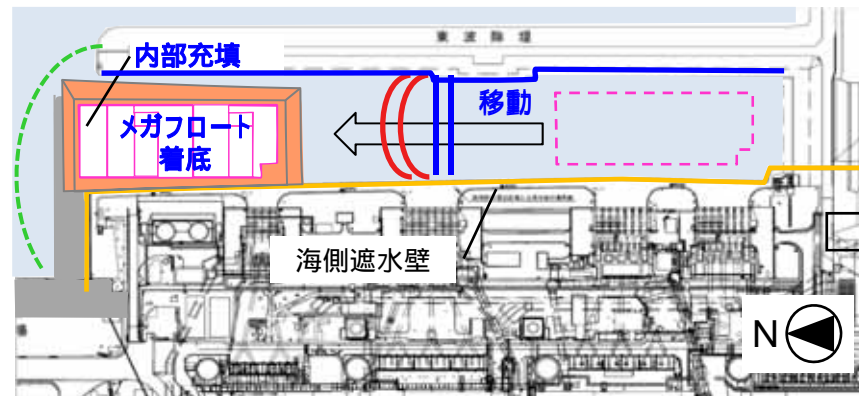
バラスト水および
除染に用いた水
の車両運搬経路

工事完了イメージ (A-A断面)

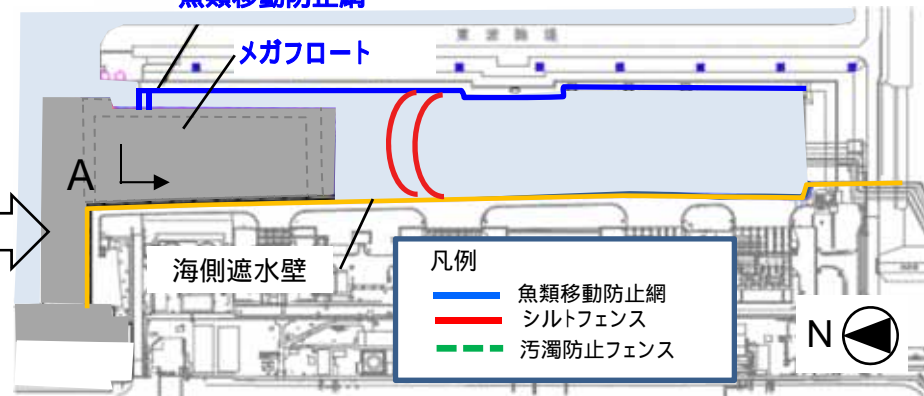


ステップ 2

メガフロート着底時



工事完了時



凡例

- 魚類移動防止網
- シルトフェンス
- - - 汚濁防止フェンス

工事期間中は、海底土の舞上りに配慮するため汚濁防止フェンスを設置するとともに、構内排水路からの放射性物質の拡散防止のためシルトフェンスは引き続き設置する。

工事工程

- 2020年度上期を目途に津波リスク低減完了を目標として対策工事を実施していく。

